

平成最後の師走を迎えて



会長 木村英雄 (S4青森)

師走に入りましたが、私の住むここ津軽でも本格的な降雪も無く、過ごしやすい年末を迎えています。早いもので5月の日本工業大学後援会の総会から、もう半年が経過しました。お蔭

さまで今年度の後援会事業も順調に進んでおります。特に本学特有のイベントである「地域別教育懇談会」は9月～10月にかけて全国20会場で開催できました。

今年度は学部学科改編により進級制度が変更されましたこともあつてか、1年生の保護者の参加が多い傾向にありました。当日は大学の近況報告から始まり、成績表の見方や進級・卒業要件、就職情報やキャリア教育について等、大学側から説明をいただきました。先生との個別面談では、進級や大学生活などの相談ができ、有意義な一日であったと思います。開催にご尽力いただいた各支部の役員の方々には準備で大変だったと思いますが、

地域の特色を生かした運営や工夫をされており、ありがたく思います。近県(埼玉、東京、神奈川)では微増ながら昨年を上回る参加があり、大学キャンパス開催の地懇を盛り上げていただきました。

後援会の近況報告としては、10月6日にサービスマスター連絡協議会が行われ、後援会の連絡協議会委員、学生代表、NIITクリエイト職員の皆様による運営向上を目的とする意見交換が行われました。

11月18日の特別事業委員会で、今年度の特別事業として建設されたばかりの学生自治会倉庫を实地確認しました。使い勝手の良さそうでした。使った倉庫に仕上がっていました。来年度の事業については、安全とセキュリティを重視して大学敷地西北境界へのフェンス設置と日本工業大学サイン設置工事を行うことを決議し、同日に開催された理事會に報告しました。今後具体的な仕様を詰め、来年度に着工できるように事業を進めて行きます。今後も学生ファ-

平成30年度 地域別教育懇談会



個別面談の様子 (蔵王支部会場)

平成30年度の地域別教育懇談会は9月8日から10月28日にかけて、全国20会場(支部主催17会場)で開催されました。ご参加いただいた会員の皆様には、有意義な時間であったと喜びの声をいただいております。お忙しい中、各会場に足を運びいただきありがとうございます。

全国20会場で開催され好評を得ました

懇談会の開催にあたっては、各支部の支部長をはじめとする支部役員の皆様には、多大なるご尽力を賜り心より感謝申し上げます。

9月9日に開催予定であった北海道会場は、直前に北海道胆振東部地震が発生したため、やむを得ず中止となりましたが、当日参加予定であった方には、近県(大学)会場への参加を呼びかけ、1名のご参加をいただきました。

また、11月10日に開催予定であった東海支部会場は、参加希望者が居なかつたため中止となりました。

沖縄県支部会場は、当初9月29日に開催予定でしたが、台風24号の影響で1か月後に延期しての開

催となりました。急遽の変更にもかかわらず、当初の予定通り5名の会員にご参加いただくことができました。

地域別教育懇談会では、お子様の成績表をもとに先生と個別面談ができる貴重な機会です。先生方は、成績だけでなく、大学生活の様子なども情報を仕入れて面談にあたり、継続的に学生を見守り、指導しています。他大学にはない、アットホームな雰囲気や、お子様の成長を大学と共に応援しながら、会員同士の親睦も深められる楽しい懇談会です。今年参加できなかった方も、ぜひ来年はご参加ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

ストに結びつく事業をしつかり継続してまいります。平成の年も残すところわずかになりました。来たる新年が日本工業大学に関わる皆様と学生にとって良い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。



全体会の様子 (福島県支部会場)



全体会の様子 (近県会場)

平成30年度地域別教育懇談会実施結果一覧

M=機械工学科 P=ものづくり環境学科 S=創造システム工学科 E=電気電子工学科/電気電子通信工学科
C=情報工学科 R=ロボティクス学科 A=建築学科 L=生活環境デザイン学科 I=情報メディア工学科

主催支部名	月日(曜)	開催会場名	対象地域	会員数	出席数	H30 出席率	大学側出席者
山梨県支部	9月 8日(土)	ホテル春日居	山梨県	23	10	43.5%	高木准教授(M) 吉野教授(E) 箕輪助教(A)
長野県支部	9月 8日(土)	ホテル信濃路	長野県	84	23	27.4%	成田学長 増本講師(M) 吉田教授(E) 飯塚教授(C) 八木田教授(P) 大宮准教授(I) 吉村准教授(A)
本部(四国)	9月 9日(日)	高知共済会館	四国	14	2	14.3%	松永教務部事務部長
本部(九州)	9月 9日(日)	デュークスホテル博多	九州	10	3	30.0%	磯財務部長
青森県支部	9月15日(土)	ラ・プラス青い森	青森県	64	22	34.4%	辻村教務部長 小崎准教授(M) 清水助教(E) 宮川教授(R/S) 雨宮教授(P) 新井教授(I) 板橋教授(L)
福島県支部	9月15日(土)	清稜山倶楽部	福島県	121	38	31.4%	長坂教授(M) 細田教授(M) 木村准教授(E) 滝田准教授(R/S) 福田准教授(S/C) 佐藤教授(I) 桑野教授(I) 田中准教授(A) 足立教授(L)
茨城県支部	9月15日(土)	ホテルマロウド筑波	茨城県	395	47	11.9%	成田学長 石川准教授(M) 平山助教(M) 石川教授(E) 竹村准教授(E) 飯塚教授(S/C) 松田准教授(C) 石原教授(I) 三坂教授(A) 吉野教授(A) 工藤准教授(L)
北陸支部	9月15日(土)	富山電気ビルディング	富山県 石川県 福井県	19	12	63.2%	二ノ宮教授(M) 池添教授(S) 勝間田准教授(I) 小川教授(A) 黒津教授(L)
静岡県支部	9月15日(土)	男女共同参画センターあざれあ	静岡県	31	17	54.8%	平栗教授(E) 秋元准教授(R) 山地教授(I) 徐准教授(A) 伊藤准教授(L)
栃木県支部	9月16日(日)	ホテル丸治	栃木県	346	42	12.1%	松永教務部事務部長 高木准教授(M) 丹治講師(M) 進藤助教(E) 滝田准教授(S) 大澤教授(P) 北久保准教授(I) 中村准教授(I) 大橋准教授(I) 安野教授(A) 片岡教授(A) 工藤准教授(L)
近畿支部	9月16日(日)	ホテルヴィスキオ尼崎	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 滋賀県 和歌山県	14	7	50.0%	林総務部長 村田教授(M) 木下准教授(A) 黒津教授(L)
蔵王支部	9月22日(土)	悠湯の郷 ゆき	山形県 宮城県	52	16	30.8%	長坂教授(M) 大田助教(E) 宮川教授(R/S) 松浦助教(I) 佐々木教授(A)
秋田県支部	9月23日(日)	秋田温泉さとみ	秋田県	11	6	54.5%	中野教授(M) 芳賀准教授(C) 橋浦助教(I) 田中准教授(A)
群馬県支部	9月23日(日)	ホテルグランビュー高崎	群馬県	276	31	11.2%	竹内学生支援部長 瀧澤准教授(M) 加藤准教授(M) 竹村准教授(E) 浦川教授(R/S) 安原教授(P) 大山教授(I) 吉野教授(A) 菊田准教授(A) 野口教授(L)
岩手県支部	9月29日(土)	紅葉館	岩手県	24	8	33.3%	古閑教授(M) 於保教授(E) 樋口教授(R) 生駒教授(I) 片岡教授(A)
新潟県支部	9月29日(土)	長岡グランドホテル	新潟県	67	16	23.9%	竹内学生支援部長 張教授(M) 木村准教授(E) 渡部教授(S) 丸山准教授(I) 那須教授(A) 勝木准教授(L)
千葉県支部	9月29日(土)	バーディーホテル千葉	千葉県	314	22	7.0%	神教育研究推進室長 野口准教授(M) 竹本助教(E) 田村准教授(S) 内田教授(C/P) 神林准教授(I) 竹内准教授(A)
本部(近畿)	10月 7日(日)	大学	東京都 埼玉県 神奈川県 (出席者の内1名は北海道)	2,286	152	6.6%	成田学長 辻村教務部長 竹内学生支援部長 神教育研究推進室長 林総務部長 磯財務部長 松永教務部事務部長 課長7名,M7名,P2名,S4名, R1名,C1名,E6名,I7名,IIC1名,A6名,L2名,H3名
西中国支部	10月13日(土)	サンビーチOKAYAMA	広島県 山口県 島根県	6	1	16.7%	白木教授(S) 三坂教授(A)
東中国支部			岡山県 鳥取県	3	2	66.7%	
沖縄県支部	10月28日(日)	パレットくもじ会議室	沖縄県	7	5	71.4%	藤田学園事務局長
合計			20会場	4,167	482	11.6%	延べ160名 (昨年165名)

※9/9開催予定の本部(北海道)は北海道胆振東部地震の影響を鑑み中止
※11/10開催予定の東海支部は出席希望者なしのため中止

※職名は開催日現在

平成30年度 環境分野研究奨励助成金採択研究テーマ

本年度は以下の5件が採択されました。

研究テーマ及びチームの構成		研究期間	研究の概要	助成額(円)
1	<p>研究テーマ：ディープラーニングによる画像認識を用いた植物図鑑システムの開発</p> <p>研究代表者：高瀬 浩史</p> <p>教職員：電気電子通信工学科 高瀬 浩史</p> <p>学生：情報工学科4年 谷澤 勇樹 情報工学科3年 飯田 椋太 窪川 諄 高山 太雅 中嶋 大貴</p>	平成30年 8月 1日 ～ 平成31年 7月31日	私たちはたくさんの植物に囲まれて生活しているが、その植物について名前すら知らないことがある。植物を目にしたその場所で簡単に、植物の名前を知り、さらに詳しい内容がわかれば学ぶことができる。植物への理解を深めるだけでなく、自然環境についての関心を高めることも期待できる。本研究ではAI技術であるディープラーニングによる画像認識を用いて、スマートフォンやタブレットなどで撮影した植物の画像から植物の名前を判断し、その解説を行うシステムを開発する。	200,000
2	<p>研究テーマ：教材用太陽光発電システムの開発</p> <p>研究代表者：鳥塚 潔</p> <p>教職員：共通教育学群 鳥塚 潔 応用化学科 伴 雅人</p> <p>学生：ロボティクス学科1年 森 優子 横森 直</p>	平成30年 9月 1日 ～ 平成31年 8月31日	再生エネルギーの1つとして太陽光発電が注目されている。本研究では、研究室内に廃棄されている太陽光パネルを再利用して環境教育用のデモ教材を作製する。さらに、Si材料とは異なる材料を用いた太陽光発電の教材も開発する。すなわち、フラーレン誘導体PCBM、およびP3HTを用いた有機薄膜型太陽電池を試作し、学生の環境教育の教材に活用することを目指す。	200,000
3	<p>研究テーマ：空気清浄機能を有するハイブリッド型高性能プラズマ洗濯機の開発</p> <p>研究代表者：矢澤 龍之(学生)</p> <p>教職員：オブザーバー：機械工学科 桑原 拓也</p> <p>学生：ものづくり環境学科4年 矢澤 龍之 川崎 淳一郎 ものづくり環境学科3年 伊藤 大智 谷中 るりか 中澤 高雅 鈴木 拓海 佐瀬 司馬 酒本 一輝</p>	平成30年 8月 1日 ～ 平成31年 7月 1日	一般的な洗剤や化学物質による洗濯はそれらの分解等の問題により環境負荷が大きい。この問題を解決するためにプラズマ形成オゾンやOHラジカルガスによる洗濯と空気清浄を同時に行える装置を開発する。オゾンやOHラジカルガスを高性能洗濯に使い、洗濯後に空気清浄に再利用するものである。装置の作製ならびに洗濯水質測定、大気中の浮遊菌測定を行い殺菌分解効果と空気浄化効果を検証する。	200,000
4	<p>研究テーマ：光触媒ハイブリッドナノ粒子を利用した水浄化・抗菌システムの開発</p> <p>研究代表者：伴 雅人</p> <p>教職員：応用化学科 伴 雅人</p> <p>学生：創造システム工学科4年 中嶋 悠登 創造システム工学科3年 富樫 秀</p>	平成30年 8月 1日 ～ 平成31年 2月28日	光触媒特性を示すナノ粒子を利用した高効率な水浄化や抗菌システムを開発する。具体的には、光触媒ナノ粒子を含むコーティングを施した砂利や小石などを試作し、これを水底に埋設することで、太陽光にて水中の有害成分や油(汚れ)の分解、殺菌などを行う。ナノ粒子には、従来の紫外光照射にて光触媒性を示す酸化チタンの他、太陽光の大部分を占める可視光でも光触媒性を発現できるナノ粒子の開発を目指す(液中プラズマを利用し、カーボンナノマテリアルと酸化チタンのハイブリッドナノ粒子を試作)。なお、光触媒性能の定量的な評価としては、メチレンブルー分解試験および抗菌試験を行う。	200,000
5	<p>研究テーマ：リサイクル炭素繊維を用いた水質浄化の新たな試み</p> <p>研究代表者：内田 祐一</p> <p>教職員：応用化学科 内田 祐一 ものづくり環境学科 雨宮 隆</p> <p>学生：ものづくり環境学科4年 城島 航大 森田 敬登 細野 芽依 青木 裕治 ものづくり環境学科3年 平良 けんじ 八木 祐次</p>	平成30年 7月 1日 ～ 平成31年 6月30日	炭素繊維(CF)はリサイクルの難しい素材である。特に、主用途である複合材の強化繊維への再利用は品質や安全面で課題が多く、強度部材以外の再生利用が求められている。申請者らはこれまでに、食堂排水中にCFを浸漬するという簡便な手法で、CF上に微生物膜が形成されて活発に排水中のBOD分を消化することを確認した。この機能を発展させて、油分や重金属等の水中の難処理成分の浄化も期待される。今回申請で、新たにリサイクルCFを活用した環境調和型の水質浄化法を追究する。	200,000

助成総額：1,000,000円

